

小田原男声合唱団の定期演奏会



指揮・福永陽一郎
ピアノ・三浦洋一

- ドイツ・ミサ／F・シュューベルト作曲
- 島よ／大中恩作曲・福永陽一郎編曲
- 合唱による風土記“阿波”／三木稔作曲
- ミュージカル“南太平洋”より
“魅惑の宵”ほか・ミッチ・ミラー・スタイル
／福永陽一郎編曲

1980
7
12
土

午後6時30分開演
¥1,000

小田原市民会館大ホール
■小田原男声合唱団 0465-24-0515



技術

の粋を結集した
堅型ピアノノ最高級品

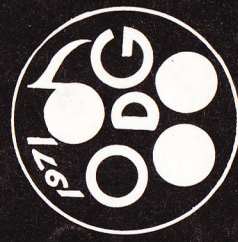
アポロピアノ
東洋ピアノ製造株式会社

特約店

井上楽器
小田原お堀端通り

TEL 24-0616

小田原声合唱团 第9定期演奏会



ODAWARA DANSEI 9th REGULAR CONCERT

1980. 7. 12



第8回定期演奏会

小田原男声合唱団 第9回定期演奏会

●とき 1980 7.12(土) PM6:30 ●ところ 小田原市民会館大ホール

ご挨拶

小田原男声合唱団 団長 松本和夫

年に一度のこの会も、はや9回を迎えました。これも一重に皆様方の暖かいご理解とご支援のたまものと心より御礼申し上げます。過日のベルリンリーダーターフェル演奏会では、多くの方々から御高評を賜わり感謝の気持ちでいっぱいです。

小田原も年輪を重ねるにしたがい、合唱を志すものとしての誇りと責任を強く感ずる次第です。

我々は「良いアンサンブル」、「オトナの男声合唱としての響き」をめざしておりますが、社会人故の練習時間のやりくり、高齢化と思われる身体の故障による休団者等悩みは多くなるばかりです。又、素人の集まり故技術的な面で、福永先生には世話をやかせざるばかりです。しかし、これからもアマチュアとしての本分を忘れず一歩一歩あゆみ続けて行きたいと思っております。

本日の演奏会にはピアノの三浦洋一先生をお迎えすることができ、又、電子オルガンの山口豊二先生のご協力も得まして団員一同精いっぱい歌う所存です。

尚、小田原も来年は10周年目を迎えます。そこで、記念演奏会として3月22日に、日本男声合唱協会（JAMCA）の仲間達が小田原に集まる企画をいたしております。

その折も皆様方の暖かいご支援ご協力を切望致しまして、ご挨拶と致します。

9年目をむかえて

福永陽一郎

いつも、団のかたがたと話し合うことですが、もう「小田原男声」も9年目になって、あんまり疾いので、どうも実感がありません。こうして来年は、10周年をむかえることになるのです。10年といえば、「ひと昔」。創立の日々は、昔語りとなってしまうのでしょうか。あんなに期待にふくらんだ気分の高揚した出発の日々だったのに。

でも、9年の長さが実感として胸にひびかないというのは、やはり、それだけ、毎週毎週、毎月毎月、毎年毎年、知らずに過ぎてしまっただけ、何はともあれ充実した日々だったのかもれないと思うのです。20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代、90代、40代になってしままい、私自身も50の半分を過ぎようとしています。でも、思い出すのは、年月の長さでなく、あの歌この歌、そしてその声ひびいた一瞬一瞬です。

ヴェテランが多く集い、私自身ひとつの典型を思っただけで、今日もまた、やっぱり試行錯誤の一日を進めているような気がします。そして、だからこそ、昔業と関わりを持つことの永遠の「若さ」があるのではないのか、そう思いだだめて10年目への足を進める私たちです。

常任指揮者 福永陽一郎

東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科出身、井口基成、豊増昇にピアノを、近衛秀麿に作曲法、指揮法、管弦楽法を、グルリットにオペラ指揮法を師事。藤原歌劇団のアメリカ・カナダ公演を指揮し1959年以後のイタリアオペラ来日公演には副指揮者として参加歌劇指揮者としては屈指のヴェテランである。



合唱に関してもプロ合唱団東京コラルリアーズの創立と育成をはじめ、現在、小田原男声の他、同志社、早稲田、法政等学生合唱団、湘南コーラルグループの常任指揮者をつとめ、さらに藤沢市民交響楽団の常任でもあり、アマチュアと地域の音楽文化向上のため理解と情熱は20年来変わることがない（藤沢市文化担当参与としてのオペラ「竜恋譜」や四回にわたる「山田一雄の世界」の制作は記憶に新しい。）。

その他、編曲、評論とその活躍ぶりは目ざましいが、1979年には、ウィーン青少年音楽祭での国際合唱コンクール審査員と早稲田大学グループを率いて、スイス、オーストリア、ハンガリー、西ドイツに演奏旅行し、さらに藤沢市民交響楽団とともに、メキシコへも演奏旅行し文字通り世界をまたにかけたの大活躍である。



ピアニスト 三浦洋一

東京芸術大学卒業。歌曲及び合唱の伴奏者として、日本の第一人者とされており、演奏会にレコードにと、その活動はさまざま多彩である。そのピアノ伴奏は協演する声楽家の特質を深く把握し、微妙なニュアンスに富み、するどい感性のひらめきをうかがわせるみごとなものとして、高い評価をうけている。レパートリーも、古典から現代曲までと大変広く、そのいづれに対しても、充実した力量とみずみずしい情感とをうかがわせる日本の代表的伴奏ピアニストであるが、日本の声楽家のみならず、パステイアニーニ(伊)、ロッシレメーニ(伊)、タリアビエーニ(伊)、ジュリアスベーカー(米)、エッダモゼー(独)、その他来演奏家の来日公演のピアノ伴奏も行っており、楽界から高い賞賛を得ている。

オルガニスト 山口豊二

広島大学教育学部音楽科卒

作曲法指揮法を高田信一氏に師事。

在学中より、ライトミュージックに興味を持ち、卒業後ピクチャー専属、鈴木庸一とラテンカンパニオンのオルガニストを約10年つとめるかたわら、スタジオミュージシャンとして活動。その後電子オルガンインストラクターに転向。演奏活動のかたわら後輩の育成指導にあたり、現在に至る。



ヴォイストレーナー 大久保昭男

昭和28年東京芸術大学音楽部声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事。近衛秀麿指揮。青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕作指揮。オペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルク」等にも出演。昭和34年には、ドイツリート、日本歌曲による第1回リサイタルを開き好評を博した。現在、東京芸大、昭和音大、の講師をつとめるかたわら東京の私原混声合唱団、地元の湘南市民コール、京都では同志社大学グループなど、全国で20を超える合唱団のヴォイストレーナーとして精力的に活動し、日本の合唱音楽の向上に貢献している。



プログラム

I EIN DEUTSTES MESSE

F・SCHUBERT作曲
福永 陽一郎 編曲

ドイツ・ミサ曲

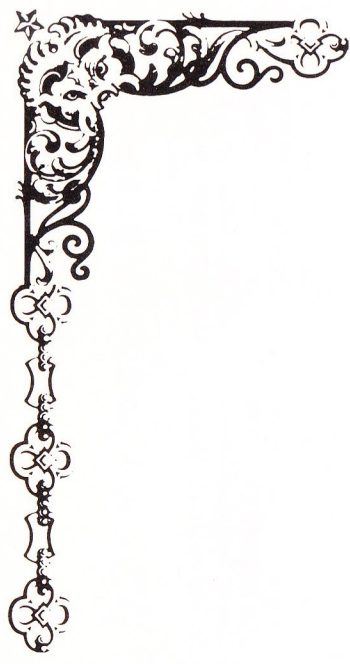
- ZUM INTROITUS (序 曲 なやみのときに)
- ZUM GLORIA (栄光がみにあれ栄光がみにあれ)
- ZUM CREDO (主のいましめ世界のはじめに光あれと)
- ZUM SANCTUS (献げまつる ああ主はみことばと)
- ZUM OFFERTORIUM (聖なるかな聖なるかな)
- NACH DER COMMUNO (祈 り 主のみいつのまえに)
- ZUM AGNUS DEI (平和あれ主のみことばはめぐみに)
- SCHLUSSGESANG (終 曲 主はわが祈りに)

II 男声合唱曲 島 よ

伊 藤 海 彦 作詩
大 中 恩 作曲
福 永 陽一郎 編曲

—— 休 憩 ——





III ミツチミラースタイルによる名曲集

福永陽一郎 編曲

1. BORN FREE (野性のエルザより)
2. DREAM (あしながおじさんより)
3. LARA'S THEME (ドクトルジバコより)
4. SOME ENCHANTED EVENING (南太平洋より)
5. CHIM CHIM CHEREE (メリーポピンズより)
6. SUPERCALIFRAGILISTICEXPIALIDOCIOUS
(「メリー・ポピンズ」より)
7. FEED THE BIRDS TUPPENCE A BAG
(「メリー・ポピンズ」より)

IV 合唱による風土記 阿波

三木 稔 作曲

- I たいしめ (鯛締)
- II 麦打ち
- III もちつき (餅搗)
- IV 水取り
- V たたら (踏鞴)



◆ 曲目解説 ◆

福永陽一郎

男声合唱のためのドイツ・ミサ

● ドイツ・ミサの成立

ドイツ曲は元来、あらためて言うまでもなく、ローマ・カトリックの典礼音楽である。グレゴリア聖歌に発生源を持ち、ラテン語の固有文を持つものである。16世紀におこった宗教改革の結果に成立したドイツ・プロテスタント教会ルーテル派において、はじめ当分の間、17世紀になっても、カトリック教会がらひき継いだラテン語の典礼文を用いていたが、やがて、プロテスタント諸派は事実上、自国語の礼拝用語を持つようになった。ルーテルも、礼拝において使用するべき「ドイツ・ミサ」を制定し、ミヒヤエル・プレトリウスやハインリヒ・ミユッツはそうした「ドイツ・ミサ」を作曲している。同時にやはりプロテスタント・ルーテル派の音楽家のディートリッヒ・ブクステフーデは、ラテン語の歌詞を持つ宗教学曲（ミサやモテット）を書いていた。バッハなどの同時代である。ただ、こうした混合の形態は、やがてコラールや衆賛歌のような、プロテスタント独自の礼拝音楽の中にとけこんで、解消してゆくことになった。

● シューベルトの「ドイツ・ミサ」

シューベルトは、伝記を読む人にはすくなく明らかに、カトリック信者であった。当時オーストリアは、神聖ローマ帝国のハプスブルグ家の主要領有地であったわけで、公認の宗教はローマ・カトリックであった。シューベルトの生家は熱心なカトリック信者であり、彼自身も、如少より宮廷礼拝堂の合唱団員を養成する目的のためのコンヴィクト（現在のウィーン少年合唱団の学校スcola・カントルムの前身）にまなび、またシユテファン聖堂の合唱児童であった。彼は生涯に、6曲の立派な（カトリック）のミサ曲を作曲している。

従って、シューベルトの「ドイツ・ミサ」は、ドイツというところの、プロテスタントの「ドイツ語ミサ」ではなく、歌詞もルーテルが制定したものとは異っている。啓蒙君主として有名だった皇帝ヨゼフ2世が、教会音楽の平民化運動に熱心で、典礼を固苦しく感じさせないものにするために、固有のラテン語の典礼文のかわりにドイツ語を用い、うたいやすく親しみの持てるメロディーを持つホモフォニックなミサ曲の成立を望んだ。この場合の「ドイツ・ミサ曲」は、ドイツ語が用いられていても、カトリック教会の礼拝のためのものであり、北方ドイツのプロテスタントの「ドイツ・ミサ」とは別のものなのである。「シューベルトのドイツ・ミサ」として広く知られている楽曲は、正式には「ミサの奉獻聖祭曲の声楽曲および付録、主の祈り」というタイトル、管楽器の合奏（オルガンとティンパニー）をともなった混声四部合唱曲で、全部で9曲の有節歌曲の形式をとっている。ウィーン工業大学の物理学の教授であったヨハン・フィリップ・ノイマンが、かねてからヨゼフ2世の教会音楽平民化運動の共鳴者であって、テキストを自分で書き、シューベルトに作曲を依頼した。作曲の完成は1826年、シューベルトの死の2年前、29歳のときであった。

ずっと以前から無伴奏男声合唱用の編曲が親しまれていて、欧米にも各種多様な出版物があるが、本日、演奏されるのは、福永陽一郎の、原曲を基にした新編曲（編曲年代は1961年）である。

男声合唱曲「島よ」

合唱音楽の作曲家として現在の日本を代表する一人であると自他とも許す大中恩（敬称略）の種々の作品は、私にとつて、実に親しいものとなっている。大中作品が存在しなかつたら、私の過去の合唱活動の半分は成立しなかつたと思えるくらいである。

大中恩の曲で初めてレコードになったのは、「私の動物園」と「アーム・アーム」で、昭和35年頃のことだが、そのレコードは、当時全盛時代だった二期会合唱団を私が指揮したものであった。以来、レコード録音、ラジオ放送、そして勿論のこと、数多くのコンサートで、大中作品を指揮し演奏してきた。大中恩は、周知のとおり、自分の合唱団として『コール・メグ』を持っており、自分の合唱作品を自分で指揮してステージに乗せているが、彼自身を除外すれば、私は大中作品の最多指揮者ではないだろうか。「島よ」は昭和45年の芸術祭優秀賞を獲得した混声合唱曲で、すぐれた合唱曲が多い大中作品の中だけでも、出色の出来映えを見せている秀作である。この曲が出版された頃、私は病床に伏していたのだが、この曲の楽譜を読んでいると、ところどころにある「決めどころ」の感動的な盛りあがりや興奮を覚え、生命力が身体の内側から湧出するのを熱いように実感した記憶がある。数年後の今日、私が元気に活動できるようにになった力の根源に、あるいは「島よ」への感動があるのかも知れない。

私は、「島よ」も、数多くステージに掛けた。レコード録音もした。私の指揮する合唱団が、大学の混声合唱団として史上初の全日本コンクール優勝を成し遂げたときの自由曲も、この曲の一部であった。私はこの曲の演奏のための自分の解釈にかなりの根拠を獲得するだけの経験を得たのだと思っている。

大中恩の男声合唱曲で成功した作品は「わが歳月」と「走れわが心」であろう。私は、前者の初演をし、後者においても、作曲者を満足させる演奏をしたことがある。しかし、男声合唱曲の書法の点で、大中恩は、混声合唱や女声合唱の場合ほど自在にゆかないものを感じているようである。

「島よ」の詩が「男」の宿命をつたつたものであり、男声合唱のイメージで作曲されたものであるならば、レパートリーの不足をかくつ男声合唱団のためにこれを男声合唱曲にするという発想は、ごく自然な人情として受け取られてしかるべきであろう。大中恩の混声合唱曲は、混声合唱の機能を十二分に知りつくした上で、その表現力を十全に生かしたものであるから、男声合唱への編成意味は、ほとんど不可能に近い困難さをもなつた作業になる。そのことを承知の上で、なお、男声合唱で「島よ」をうたいたいという要求は各所で高まっていた。

実は、早稲田大学グリーククラブが初演した福永陽一郎編曲の前に、「島よ」は、二度、男声合唱曲化されている。一度は、西南学院グリーククラブの指揮者であった完戸真人によって、もう一度は、名古屋工大合唱団の指揮者であった永友博信によって。この二度の編曲は、いずれも私の指導下になされたのであるが、それぞれの個性的なアイデアを尊重したために、かなり別個の表面を持った出来上がりになった。

私の編曲は、また別にオリジナルに書きおろされた編曲で、原曲が同一である以上、前二者と共通の箇所もすくなくないが、そこちからも違っているところがある。当然のことながら、私は、原曲の中での男声合唱的イメージをそのまま生かしつつ、混声合唱での共鳴音に匹敵する声の響きをつくりだそうとつとめながら編曲したつもりである。



XROTEIOWA

A-32

◇ 音楽と仲よしになれる、新しいカタチ、新しい音。

株式会社 鈴木楽器製作所
浜松市漁家町443 TEL (0534)-61-2325 (代表) 千430
鈴木楽器販売株式会社
横浜市緑区在田町1856-8 横浜 (045) 911-1916

ミッチ・ミラー・スタイルによるポピュラー・ソングブックス

カラーテレビがようやく普及しようという1960年代のはじめに、アメリカのNBCで制作された合唱番組がヒットし、日本でもNHKがそのフィルムを買って毎週日曜日の午後、連続して放映したため、誰知らぬもの無い有名な存在になったのが「ミッチ・ミラー合唱団」であった。NBCでの初登場が1960年、準レギュラー番組を持ったのが1961年、毎週レギュラーの「ゴールデン・アワー」の一時間番組になったのが1963年。NHKが放映を始めたのが同じ1963年。このNHKの「ミッチと歌おう」は丸3年続いた。といつても、もう15年の前の話で、現今の若者には無縁のこととなったのかも知れない。中年合唱団を誇る「小田原男声」の中にも、「もう忘れた」「何ですかソレ」と、多様な世代がいさうである。

ミッチ・ミラーは、もともアメリカ・コロニアのクラシックの芸芸部長で、以前は交響楽団のオーボエ奏者だった。かたい人だがのちにポピュラー部門に移ってプロデューサーとなり、多くのスターを生み出した。このミッチが、明るく健康的な歌を普及させようと思いついた。成年の男性ばかりで編成された合唱団をつくり、その合唱団に、誰でも知っている愛唱歌や民謡、スタンダード・ナンバヤ・ヒット・ソングをうたわせた。それも、複雑な編曲によらず、ストレートなインテンポ唱法でおしたため、たいへん広い層の支持を受けたのであった。それまでのプロ合唱団というのは、高度な技巧を誇示し、アクロバティックな唱法を売り物にしたために、一部の趣味人の愛好の対象にしかなり得なかったのを、見事に打破したのである。アメリカ伝統の「バーバー・シヨップ・スタイル」=第2テノールが常に主旋律をうたわせることで、ハーモニーの中にいつも明瞭なメロディーをきかせる編曲法を主体にして、伴奏楽器も、ドラムやベースといったリズム・セクションに限定し、通常使用されるギターは、男声合唱と同じ音域だという理由から排除して、女性の音域の撥弦楽器であるウクレレをつかい、オブリガート楽器はハーモニカといった具合に、男声合唱の音色や特性をいっさい殺さない配慮がどこまやかになされている。その上、うたう曲は、誰でもが知っている有名曲ばかりだから、人気が高まるのは当然だった。誰でもがうたてみたいコーラスを、誰でもやれそうに、しかも、魅力だけを抽出した形を提出していたのである。（この頃のコーメンタル・フィルムは、古い録音を流して、ミッチだけが顔を出している「別物」で、現在はこの合唱団は存在しない）テレビ番組「ミッチと歌おう」の人氣にあやかかった番組はいくつもできた。私自身は、朝日放送とラジオ関東の共同制作だった「百万人のコーラス」というミッチ・ミラー・コーラスの編曲による帯番組（毎朝5分間、一曲）という数年続いた番組に関係し、数百曲の編曲をした。本日はその中から、なつかしいスクリュー・ミュージックといったテーマで選曲した7曲で、説明はいらぬ有名曲ばかりである。

なお、オリジナルなバンド編成は、特殊楽器が多く、各種の困難があった今回実現できなかった。かわりに、エレクトリック・オルガン奏者の山口豊二氏に、オリジナルの音色を生かした編曲をしたうえで、奏いていただくことになった。

合唱による風土記「阿波」

作曲家・三木鶏は、昨年（1978年）ロンドンで初演され成功を博したオペラ「ADA」によって、一躍、世界的な一流作曲家としての名声を得ることになった。「日本音楽集団」による活躍で、国の内外でよく知られた存在だが、活動の初期（1962年代が中心）には、彼自身、東京リーダータワーエルフラインに所属していたこともあって、男声合唱曲をかなり多く作曲している。

「阿波」は、その最初の作品ともいえる組曲で、1962年の11月から12月にかけて作曲され、翌1963年10月28日、荒木宏明指揮の東京リーダータワーエルフラインによって初演された無伴奏男声合唱曲である。

かつての音楽はすべて労働に源泉し労働に還元され、思想にも感情にすらも優先したと思われる。この作品に一貫するものはその「労働」である。また労働の形態はそれ自体音楽の形式につながる得るものであり、この作品は伝統保有ということよりも、この地方に存在し、また存在した労働の形態から音楽を再創造することに、より多くの努力がはらわれている。したがって部分的には生の民謡から得られた伝承旋律を使用しながら、多くは全く原型を止めぬものや、架空の旋律で構成されている。」

以上は、作曲家自身の言葉である。

1 たいしめ（調締）

阿波の入口に当る鳴門の鯛は、はげしい潮流にもまれるために、その美味しさは天下一品といわれる。その最盛期は毎年「八十八夜」前後の15日から30日ぐらいの間であり、ひと網は大小数百尾を獲ることができるといふ。鯛締は、鯛網を引くことであり、同時に豊漁への祝賀でもある。

2 麦打ち

阿波国・北方の吉野川の流域は、夏に米を作らず蕎麦を多く作っていたため、裏作（冬）の麦が穀物の主体をなしていた。

麦打ちとは、刈り取った麦の穂をこいで、ゴザの上に並べ、「からさお」を持って向かい合い、かわるがわる麦を打つ作業である。曲の冒頭の掛声は、前半が振り上げ、後半が打ちおろしになる。

3 もちつき（餅揚）

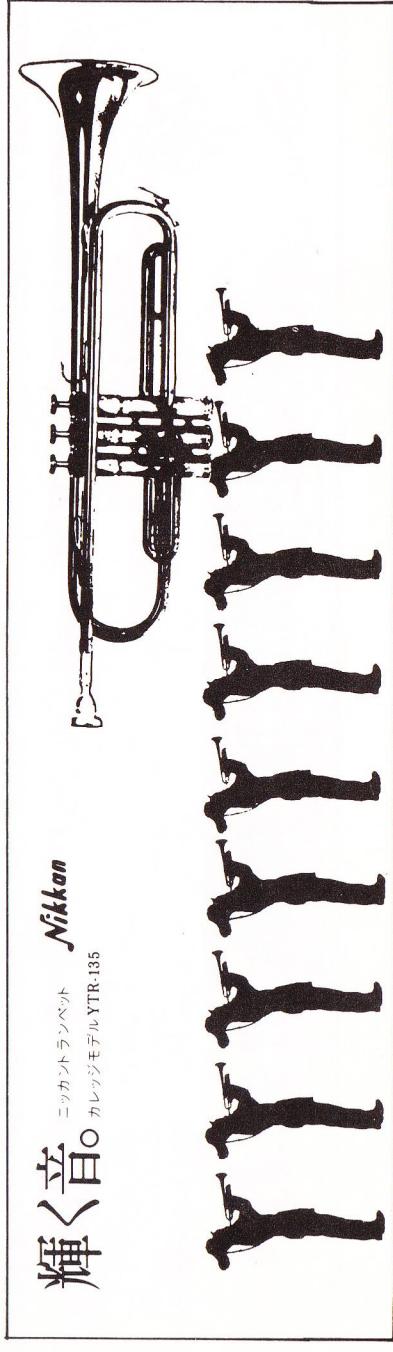
農村では、祝いごとのたびに、振舞餅をつく習慣が、全国的に存在するが、吉野川中流の勝明という古い町では、三味線入り、しかも、歌が陽施法で三味が陰施法という奇妙なビトナールな雰囲気を持つ歌をうたう。鳴物入りというのは、やはりこの単純な労働に変化をもよほすための民衆の智慧であることが、

4 水取り

吉野川下流では、400年近く、品質のよい「阿波藍」の栽培がなされてきた。「水取り」は、畑に苗を移植した後の濯水の時に、井戸から水を汲んで畑にやる作業で、とくべつに単調できつい労働だったと思われる。この曲の基となった伝承歌は、作曲者自身によって地元の老婆の声から採集されたもの。

5 たたら節（踏鞴）

「たたら節」は日本各地に存在している農村の製鉄夜作業の労働歌の形式である。ここでは徳島県下の数種の「たたら節」の言葉だけが利用されて、男声合唱団の「終曲」をかたちづくっている。



輝く音。

Nikkan

ニッカントランペット
カラレッジモデル YTR-135

◆ 男声合唱曲

「島よ」

問いかける 樹々の緑
……………なぜ なぜ なぜ

島よ
碧い日々に とりまかわれているものよ
時の波に 洗われているものよ
翼もなく 鱗もなく
涯てしなさに うづくまるもの
距離られ ただひと耐えているもの
憧れと 虚しさ あまたの眼に
みつめられているものよ

——島よ

まぶしさに 吹かれながら
島は夢みる
波の言葉に誘われて いつか
漂うことを

見すてられた沈黙

その悲しみを断ちきって
ある日 ふと 魚のように
漂うことを

——かすかに煙る 明日
沖の彼方の 煙る明日

ああ だが
どこに行けるといふのだろう
遠い昔からそうだったように
島は さだめられたひとりを生きる
……………なぜ なぜ なぜ
その孤独から 空にむかって

白く泡だつ声をめぐらし
島はひっそりと 重くなる
忘れられた 果実のように

降りしきる雨のなかで
島よ
おまえは傷ついていたもの
はてしない 波だつ荒野の
翼に落ちた 小さきなもの

枝をしなわせ 葉むらを打ち
泥をこね 突き崩し 押し流す
雨、雨、雨、……………
ああ 空と海との
まざりあうこの狂気
とめどなく 島を噛み 島を裂く 暗い力

そしてまた 島は失う
数しれぬ 柱と夜
そがれ けづられ
いくたびも失いつづけたものを
岩と土 夢と砂とを

雨は降り
風まじり 雨はつゆり
島は確かめる
ひとときごとに失われる自分を
島は濡れ 島は沈む
島であることの いらだち
島でしかないことの 悲しみのなか

波の果て 陽が落ちるとき
赫々と身を染めて
島はおもう

遠い昔 炎だったことを
熱く落けた 叫びだったことを
落日を身に浴びて

島はきく
わきたつ海の
その底をゆるがすひびき
島はきく
忘れていた はるかな生命
母なる岩漿の ひとつの声を

——ああ

溢れ こみあげ ほとばしる岩漿
焼けただれ とび散る 燐岩
灰と煙と にえたぎる海
かけのぼり 走り 空をひきさき
かぎりなく
落ちて 落ちて 落ちつづける
灼熱の雪崩……………

……………華、紫、薄黒色
空は変り 風はひそみ
夜へ傾く時のなかで
島はあたらしくなる
呼びさまされた声を呼び
島は鮮やかに生きはじめ

★ 明治製菓のハーブ(野草)ドロップ



“ドレミ”
《新包装品》

小缶 (100g入) ¥500
大缶 (220g入) ¥900



明治製菓株式会社 薬品部

東京都中央区京橋 2-8

小田原男声合唱団の皆様、定期演奏会の御成功を祈ります。

『草笛の匂いがする』……………

世界各地の高原で育ったハーブ(野草)。その中から選りすぐった15種類のエキスを配合した、ノド専用のドロップです。お菓子と菓の技術をもつ明治製菓が作りましました。人工着色料・人工甘味料、防腐剤など、および人工的なものは一切使用していません。風味豊かなおいしさは、野草のエッセンスで生まれたもの。自然を求める時代の要望に应运え誕生した、これからのドロップです。

鳥は感じる

ふかい夜のむこうから
やってくるものの気配を
長い旅から かえってくる風を
たえずあの 青空の告げていたもの
怖ろしいまでの優しさ

ときあかせぬ 大気の微笑を

鳥は感じる

やってくるものの気配を

見知らぬ一日が

吐息のようにひろがるのを



鳥よ

のがれようもなく孤りているものよ

心のなか 虚ろな海に

浮かんでいるものよ

日ごと夜ごと その身をそがれ

なお遠い 火の刻印を守りつづけるものよ

鳥よ

おまえは 私ではないのか

散り散りの 人という名の

儚ない鳥

私ではないのか

——鳥よ

「阿波」

4 水取り

山鳥りや 子にこそ迷え
たち別れまい この森を

じわじわと 突っこめや

早や持ち上げる

さても具合な はねつるべ

5 たたら (踏鞴)

東西東西 東西南北 鎮まりたまえ

エイエイサッサ エイサッサ

ヤットサッサ エイサッサ

ヨウそれ踏めや それ踏めや

親方洒手はどうじゃい どうじゃい

そんなら踏め踏め ヤッシッシ

色はちっくり 黒てもままよ

人に好かれる 笑顔よし

いつも無理に 頭布をかむり

家で遊びを するよりは

たたら踏むのが 面白い

エイエイサッサ エイサッサ

ヤットサッサ エイサッサ

ヤットコセ ヨイトナ

コレワイセ さあさ何でもせ

1 たいしめ (鯛締)

うれしめでたの 若松さまは

枝が栄えりや 葉も茂げる

岬鼻から 戻るとすれば

鯛やサワラが 呼び戻す

貯めた貯めたよ この網や貯めた

磯の藻綿で 又貯めた

2 麦打ち

山で山鳥や 尾は長けれど

しのぶその夜の夜の 種かさよ

山が覆れても 山鳥や飛ばぬ

可愛い我が子に 魅かされて

鐘がゴンと鳴りや 早よいのいのと

ここは寺町 何時も鳴る

3 もちつき (餅搗)

旦那大黒 奥さん恵比寿

ひとりある子の 福の神

御所のお庭で 扇を拾うて

扇めでたい 未繁昌

伊勢へ七度 熊野に三度

若戸様へ ふき参り

世治まる 思ったなのさ

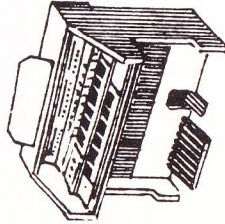
未は鶴亀 五葉の松

一石二石三回一の

餅搗きやしました

ゴシヤシヤシヤンノシヤンシヤン

講師養成(特別)コース募集中



・ピアノ/経験をお持ちの18歳以上の方
〈コース概要〉
第1講座 5ヶ月コース→ビクトロン
第2講座 1年コース→ビクトロン6
第3講座 資格取得講座(理講口座)
〈レッスンスツ料〉
第1講座 (入会金) ￥2,000

井上楽器音楽教室 生徒募集

★ビクトロン科
★ピアノ科
★幼児音楽教育科

4歳児・5歳児をおもちのお母さんへ。

ピアノ・ビクトロンのための《幼児音楽教育科

お子さんに音楽を身につけさせたいとお考えのお母さん!

リトミックとソルフエージュによる音楽教育

小田原おほりばた通り井上楽器0465(24)0515までお問合せ下さい



日本ビクター株式会社

◆1980年度オダダンカレンダー

- 2月16日 神奈川フィルハーモニー第九演奏会 (小田原)
- 3月19日 ベルリンリーダーターフェル演奏会 (小田原)
- 6月1日 湘南合唱祭 (伊勢原)
- 6月28日29日 合宿 (箱根)
- 7月12日 第九回定期演奏会 (小田原)
- 9月23日 カルメン (藤沢)
- 10月4日 カルメン (静岡)
- 12月7日 県合唱フェスティバル (横浜)
- 12月9日 神奈川フィルハーモニー第九演奏会 (小田原)
- 8月1 / 3月22日 JAMCA (日本男声合唱協会) 小田原演奏会 (小田原)

◆オダダンテーマソング

●オープニング 森の歌声

三沢 郷 作詞

夕べ 森を吹く風の言葉は たえに懐し
 今宵その森に歌をささげよ
 若きその歌 若きあこがれ
 若き瞳 若きかんばせ

楡のこずえに 夜風渡れば
 星は輝き 月も疾くいでよ
 若きその歌 若きあこがれ
 若き瞳 若きかんばせ

聞けやこの夜 風はひそかに
 乳色の夢 まどかにけむる
 森のうたげを その森の歌を

●フローズイング

阪田 憲夫 作詞

Tra La La La
 La La La La

暗い地球に あかりがともる
 ひかりの輪の中に 微笑がある
 さびしいけれど ひとりぼっちじゃない夜
 おやすみ 今日の目
 おやすみ 仲間

La La La La

霧が川から 静かに昇る
 おまえの窓の灯も やさしくうるむ
 さびしいけれど ひとりぼっちじゃない夜
 おやすみ 今日の目
 おやすみ 仲間



AULOS® RECORDERS

品質抜群、確かな商品

▲トヤコ楽器製造株式会社

本社 〒174 東京都板橋区大原町41番地
 工場 〒364 埼玉県北本市宮内1262番地

TEL. 03(960)8301(代表)
 TEL. 0485(41)5451(代表)

◆ 団員名簿 ◆

☒ トップテノール

大塚 正夫	小田原 大磯小学校	足利 裕之	湯河原 多賀中学校
近藤 国男	小田原 本町小学校	伊東 清邦	秦野 温泉小学校
斉藤 恵司	厚木 桜台小学校	小沢 一	小田原 昭和音大
坂口 新治	南足柄 富士フィルム	奥津 光隆	真鶴 熱海市老人ホーム
長谷川 幸雄	小田原 県横浜出納事務所	柏木 秀茂	小田原 山北中学校
福井 隆	二宮 富士フィルム	坂上 恵	南足柄 富士フィルム
福島 修	小田原 富士フィルム	下村 興毅	小田原 金属商
日置 達男	南足柄 富士フィルム	中島 広志	厚木 国立箱根病院医師
吉田 晃	小田原 吉田薬局	二宮 治二	大磯 大磯図書館
		松本 和夫	小田原 岡本中学校

☒ バリトン

☒ セカンドテノール

青野 幸夫	秦野 秦野上小学校	阿部 年男	平塚 なでしこ小学校
青野 正純	小田原 富士フィルム	井上 忠彦	小田原 井上楽器
氏家 慶明	山北 川村小学校	江藤 凱夫	厚木 富士ゼロックス
市野 修一	南足柄 富士フィルム	日下部 暘	平塚 医師
小坂 正夫	函南 熱海陶芸センター	栗原 忠道	平塚 フクスケ画廊
須原 清一	南足柄 三国工業	坂口 宗夫	小田原 富士フィルム
鈴木 幸三	山北 相洋中学校	下沢 孝	小田原 富士フィルム
坪井 孝士	南足柄 富士フィルム	中山 博之	二宮 関西ペイント
福井 靖史	二宮 大磯小学校	野口 吉昭	小田原 横浜国大大学院生
宝子山 尚生	小田原 ゆうかり養護学校	広田 守邦	茅ヶ崎 マイコトギシン検査協会
本多 行一	小田原 国府津中学校	渡辺 誠之	小田原 城山中学校
		羽深 裕恭	小田原 世界救世教

☒ ハス

若さあふれる男の魅力……！

小田原男声合唱団を育てましょう。



東京田辺製薬株式会社

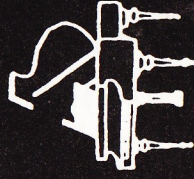
東京都中央区日本橋本町2-7-3

東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島

手づくりの良さと

ドイツレンナーハンマ/6角ワイヤー使用

ピスタ-ピアノ



の 井上楽器

小田原市栄町1-13-36(お堀端通り)

☎04524-0515(代)

小田原男声合唱団事務局